

平成27年度 行政評価 施策カルテ

施策名	2 新規開業・新事業創出の促進
-----	-----------------

施策主管課	産業政策課	総合計画記載頁	135ページ
-------	-------	---------	--------

1 施策の位置付け

政策の柱	IV 市民の豊かな暮らしを支える活気と活力のある社会を築くために	政策名 (基本施策名)	17 地域産業の創造性・発展性を高める	政策の達成目標 (基本施策目標)	本市の農業、商業、工業において、相互に新たな関係や連携が生み出され、地域資源の有効活用や人材の交流が活発化して、地域産業の創造性・発展性が高まっています。
------	----------------------------------	----------------	---------------------	---------------------	---

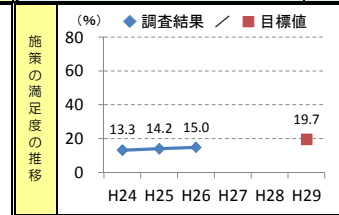
2 施策の取組状況

施策目標	市民や企業の時代のニーズを捉えた積極的な取組により、新規開業や新事業が創出されています。
------	--

① 施策指標	指標名(単位)		H24	H25	H26	H27	H28	H29 (目標年)	評価	② 市民意識調査結果	指標名(単位)		H24 (現値)	H25	H26	H27	H28	H29	評価		
	指標1	起業者セミナー参加者数	単年度目標値	75	80	85	90	95			100	B	指標2	施策の満足度(%)	調査結果	13.3%	14.2%	15.0%			
		現状値	72人	実績値	48	79	70														
		目標値(H29)	100人	単年度の達成度	64.0%	98.8%	82.4%														
③ 主要な構成事業の進捗状況 (主要な構成事業の個別の進捗状況は、「3 施策を構成する事業の状況」を参照)										B											
① 施策指標	指標名(単位)		H24	H25	H26	H27	H28	H29	【参考】中核市等との水準比較	指標名(単位)		H24	H25	H26	H27	H28	H29				
	民営事業総数/市民1千人	中核市平均	45.0	45.0	42.3																
		実績値	45.7	45.6	42.8																
		中核市での本市の順位	22位/41市中	22位/41市中	24位/42市中																
		中核市平均																			
		実績値																			
	中核市での本市の順位																				

※『①施策指標』の単年度の達成度の計算について

★ 通増型の指標(目標値が基準値より増加することが望ましいもの)	実績値 目標値	× 100 (%)
★ 通減型の指標(目標値が基準値より減少することが望ましいもの)	目標値 実績値	× 100 (%)



① 施策指標	A: 達成度90%超 [33点]	B: 達成度70%~90% [25点]	C: 達成度70%未満 [15点]
② 市民意識調査結果(満足度)	A: 前年度より向上(±5pt超) [33点]	B: 前年度同水準(±5pt以内) [25点]	C: 前年度より低下(±5pt超) [15点]
③ 主要な構成事業の進捗状況	A: 計画以上(主要な構成事業の2割超が計画以上) [33点]	B: 計画どおり(主要な構成事業の8割以上が計画どおり) [25点]	C: 計画より遅れ(主要な構成事業の2割超が計画より遅れ) [15点]
総合評価	順調:(A評価が2つ以上(C評価がある場合を除く。)) [90点以上]	概ね順調:(主にB評価が2つ以上) [65点以上90点未満]	やや遅れている:(C評価が2つ以上) [65点未満]

取組内容と成果・成果の要因、進捗の状況		※ 評価の考え方
---------------------	--	----------

施策を取り巻く環境等	<ul style="list-style-type: none"> ・2014年版の中小企業白書によれば、全国的に、新たに事業を起こそうとする「起業希望者」の数が、2012年が約84万人に留まり、15年前の1997年の約167万人から半減している。 ・また、日本再興戦略(2013年6月)によれば、既存の事業所数に対して新設された事業所の割合を示す「開業率」が、2012年は4.6%(栃木県:4.2%)と欧米と比べて低水準の状況にあることから、今後10年間に於いて、欧米レベルの10%台になることを目標としている。 ・このような中、国において、起業や創業により、地域の産業力を強化していくことを目的とした、産業競争力強化法が平成26年1月に施行され、これに基づき、本市においても創業支援計画を策定し、市内の創業支援機関と連携し、地域一体となった入口から出口までの一貫した実効性のある創業支援に取り組んでいるところである。 	市民満足度	<ul style="list-style-type: none"> ・地方における長引く景気低迷で安全志向が強まり、積極的にリスクをとろうとする人が減っている傾向はあるが、女性が働きやすい環境の整備や働く意欲の向上などにより、女性の起業に対する意識の高まりが見られることなどから、市民意識調査の満足度がやや上昇したと考えられる。
施策指標	<ul style="list-style-type: none"> ・起業家セミナーについては、本市と県産業振興センター、宇都宮商工会議所で実施しているところであり、全国的な景気低迷による先行きの不透明感から起業意欲が抑えられている傾向があり、参加者数全体としては前年度より減少したところはあるが、起業家支援ネットワーク会議メンバーとのより密接な連携により、参加の周知を促進してきたことから、一定数の参加者の確保にはつながっている。 		

総合評価	75点
概ね順調	

3 施策を構成する事業の状況

※凡例 ○:「総合計画の戦略プロジェクト・主要事業」対象、★:「③ 主要な構成事業の進捗状況」対象(最大5事業選択)

No.	事業名	戦略P・ 主要事業 ※	事業が属する総合計画の 構成事業名	事業内容		事業の 進捗状況	H26 事業費 (千円)	開始年度	日本一 施策 事業	施策目標を達成するための取組方針
				対象者・物(誰・何に)	取組(何を)					
1	起業家養成事業	★	起業家精神の育成	大学生、専門学校生、 一般社会人 ※特に若年者	アントレプレナーシップ(起業家精神)を養成するための講座を実施	計画どおり	2,570	H25		本事業を通じて起業家精神が高まった若者を、実際の起業創業に繋げていくため、継続的にアントレプレナーシップの喚起を促すとともに、起業化支援ネットワーク会議と連携しながら、各種ビジネスプランコンテスト参加等への誘導・支援を図っていく。
2	チャレンジャーのまち うつのみや推進事業	○★	起業家の集積・成長支援	Uターン、Jターン、Iターンにより市内に移住し、新たに起業した(しようとする)方	法人設立費用、事業拠点費用、生活拠点費用の一部を補助	計画どおり	1,468	H20	先駆的	優れたビジネスモデルを有するベンチャー企業の本市への誘致・集積を図るため、ダブルブレイスイベントとの連携や啓発パンフレットを作成するなど、より効果的な手法等を検討しながら、市外・県外起業家に対して積極的なPRを行い、新規申請者の確保に繋げる。
3	起業チャレンジャー発掘事業	★	起業家の集積・成長支援	新規性のあるビジネスプランを有する、起業予定者、起業後3年以内の方、既存事業とは別に1年以内で新事業検討者	コンテスト実施、セミナーの開催等	計画どおり	1,987	H23		起業家の発掘・創出・育成、並びに市外からの起業家の誘致を目的として、ビジネスプランコンテストを開催し、プランの作成からブラッシュアップ、表彰までの支援を行った。今後は栃木県がビジネスプランコンテストを開催することから、起業家支援ネットワーク会議と連携しながら、市内起業家のコンテストへの参加を誘導・支援していく。
4	宇都宮ベンチャーズ事業補助金	★	インキュベーション機能の充実	宇都宮ベンチャーズ(運営委員、入居企業、ベンチャーズClub会員)	インキュベーション施設の運営(経営診断、入居企業間交流促進、起業家の発掘等)	計画どおり	4,035	H15		支援機関が集積している栃木県産業会館に移転したことで、関係機関と連携したより効果的・効率的な支援が可能となったことから、ベンチャーズで実施している各種事業(交流サロン、経営診断、セミナー等)について、時代の変化と起業トレンドにあわせるなど、起業家育成の効果的な支援体制を構築していく。
5	産業振興機能強化事業(起業・創業相談窓口)	★	新事業創出の支援	起業予定者及び起業後間もない者	各種相談に対するアドバイスや専門機関・支援事業等の紹介等	計画どおり	1,244	H24		10月から栃木県産業会館に相談窓口を移転し、創業を予定している者などに対して、関係機関とも連携しながら、様々な相談にワンストップで情報提供を行うことが可能となったことから、より積極的な支援を行うことで、市内での起業・創業につなげていく。

4 今後の施策の取組方針

今後の方向性	
<p>課題</p> <p>◆起業家の集積・成長支援については、創業支援事業計画を策定したことで、これまで各創業支援機関が単独で実施していた創業支援事業を、オール宇都宮の連携の下で、入口から出口までの一貫した支援を実施することが出来る体制が構築されたところであることから、今後は更なる連携強化のもと、創業期から成長期までを結び付ける実効性のある施策を検討し、地域の起業者のモデルとなるような事業者を育成していく必要がある。</p> <p>◆インキュベーション機能の充実については、昨年10月の起業家支援施設の栃木県産業会館内への移転を機に、宇都宮商工会議所などの関係機関とこれまで以上に円滑な連携が可能となったことから、より迅速かつ多様に起業家が抱える課題に対応出来る体制をつくる必要がある。</p>	<p>方向性</p> <p>〈施策全般〉 ◆新たなビジネスの発掘が雇用の創出や地域の活性化に結びつくことから、今後、起業の担い手となりうる若者や女性、高齢者が起業しやすい環境を整えるとともに、起業の入口(起業家精神養成期)から出口(成長期)までの支援策をオール宇都宮で総合的に展開していく。</p> <p>〈主要事業〉 ◆チャレンジャーのまち うつのみや推進事業 本市へのUJIターンによる起業を促進するため、ダブルブレイスイベントなどでの周知や啓発パンフレットの作成などにより、積極的にPRを行い、UJIターン起業促進補助金制度の周知徹底に努めるとともに、より使いやすく、より魅力のある制度にするため、他市事例等を参考に内容の見直しについて検討していく。</p> <p>〈その他個別事業〉 ◆起業家養成事業 受講者の増加に繋げるため、一般の方が参加できるフォーラムを講座開始前に実施するなど、積極的な周知活動を行い、さらなるアントレプレナーシップの醸成に繋げていく。 ◆起業チャレンジャー発掘事業 起業家支援ネットワーク会議と連携しながら、県が開催するビジネスプランコンテストへの市内起業家の参加を誘導・支援し、市内での起業・創業に繋げていく。 ◆宇都宮ベンチャーズ事業 起業家支援施設への入居促進や起業家の発掘に努めるとともに、関係機関と連携し、起業家が成長していける支援事業の実施、環境づくりなどにより効果的な支援事業に努めていく。 ◆産業振興機能強化事業(起業・創業相談窓口) 市内での起業・創業に繋げるため、多種多様な相談にワンストップで迅速に対応できる体制を関係機関と構築したところであるが、更なる効果的な支援を図るため、より一層連携を深めていく。</p>